

# 10月21日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●国家安全会議で決まった事(2022年10月20日)

※安齋感想:兵士の給料が高いのでびっくりしました。

Jano66ロシア情報



プーチン大統領：ロシアの新しい安全基準発表 - RT

昨日の国家安全会議で決まった。

ヒトラーの協力者バンデラを信望するウクライナ政権が企てるテロ攻撃とテロ工作への対応のための新基準です。

- ◆ 4州に戒厳令
- ◆ クリミア・ベルゴロッドを含めたいくつかの州で中度警戒レベル設定。何かが起こった際の対応スピードを上げるため。
- ◆ ウクライナ問題向け特別危機管理センターの設置
- ◆ 動員兵への給与およびサポート。

月給195,000ルーブル(3,200ドル、48万円)の給与支払の徹底と、宿泊施設、配備場所、生活環境、制服、装備、食べ物、医療体制などの確認。

💡 気になるお給料。日本円が弱くなったので、月50万近いね。ロシアの物価だとすごくいい金額だと推測。

👁️ 8 Jano66, 12:31

## ●コロンビア大統領の評価【2022年10月20日】

ペトロ大統領:「否定できない経済危機が来ている。米国は実際に世界のすべての経済を破壊している」。「ロシア、ウクライナ、欧州人がガスとエネルギーをめぐる戦争を引き起こした後、欧州経済は崩壊しつつあり、独・英・西・仏が危機に瀕している」。



## ●松野官房長官の弁(2022年10月20日)

松野官房長官は、午前の記者会見で「民間人や民間施設への攻撃は、国際法違反であり、断じて正当化できず強く非難する。G7＝主要 7 か国をはじめとする国際社会と緊密に連携し、ロシアに対し、即時に侵略を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう改めて強く求めていく」と述べました。

そのうえで、「冬の厳しい寒さが待ち受ける中、ウクライナの人々に寄り添った支援を実施すべく、日々緊密なやり取りを行っており、おととい、松田駐ウクライナ大使がウクライナのエネルギー相と意見交換を行った。引き続き、ウクライナとの連帯を堅持し、ウクライナ政府と国民を支援していく」と述べました。



※安齋注:官房長官発言の特徴は、ウクライナ政府軍が2014年から東部ウクライナ・ドンバス地方に対して、まさに「民間人や民間施設に攻撃」を加えてきた事実には一切言及しないことです。ウクライナ国民を支援したいのなら、アメリカに働きかけて和平への道を拓くために努力することですが、アメリカの子分には出来ない相談かな。

## ●ウクライナ軍によるドローンで住宅地に被害(2022年10月20日)

ウクライナ軍が生放送で、ドローンが住宅に墜落したのは自分たちが撃ったからだと認める。司会者は頭を抱え、プロデューサーに目をやり、その後すぐに救助された猫の話題に変わった。

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1582616903314702336?t=gY01J5ZdOlJoNOmbBQpL3Q&s=09](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1582616903314702336?t=gY01J5ZdOlJoNOmbBQpL3Q&s=09)



## ●ウクライナが「第二のブチャ」と騒ぎ立てる事案(2022年10月20日)

ウクライナは何度も、十字架の付いた個人のお墓を集団墓地だと騒ぎたてましたが、これが本物の集団墓地です。アゾフの戦争犯罪です。

※安齋注:「第二のブチャ」って言ったって、「第一のブチャ」はウクライナの仕業であることは明確だし、この10月1日のロシア・トゥデイの番組が「第二のブチャ」なるものをインチキ映像を含めて解明しています。

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1582955930651885568?t=LjQ8wPX3AgUPXuycA4yRbQ&s=09](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1582955930651885568?t=LjQ8wPX3AgUPXuycA4yRbQ&s=09)



## ●ウクライナ軍のドローン兵器【2022年10月20日】

ロシア国防省は、ウクライナでの特別軍事作戦の過程で、ロシア軍が 2,266 機のウクライナ製ドローンを撃墜したと報告した。

※安齋感想: こういう情報は正直に公表するものなんですね。多いのやら少ないのやら。

**SPUTNIK** 世界 ▾

### ロシアは、特別軍事作戦の開始以来、2,266台のウクライナの無人偵察機を撃墜しました

15時間前



© Sputnik / RIA Novosti / メディアコンテンツへのアクセス

私たちに従ってください [Mundo](#) [Video](#)

モスクワ (スプートニク) - ロシア国防省は、ウクライナでの特別軍事作戦の過程で、ロシア軍が 2,266 機のウクライナ製ドローンを撃墜したと報告した。

## ●ロシアのテレビがウクライナによる対口核爆弾使用可能性を論議(2022年10月20日)

「ウクライナはニコラエフに核爆弾を準備しており、それを爆発させてロシアのせいにする。そうすれば、米国は戦争に直接関与し、ロシアにミサイルを発射する正当な理由を得ることができるのだ」。

※安齋注: そんなことにはなるまいというのが私の観測ですが、情報は注視しましょう。

[https://twitter.com/syuugoro2/status/1582916355833012224?s=20&t=PegY\\_Jk6SfNcyXFb2rSStA](https://twitter.com/syuugoro2/status/1582916355833012224?s=20&t=PegY_Jk6SfNcyXFb2rSStA)



## ●プーチン大統領、米ドルからの完全な独立を宣言(2022年10月20日)

ロシアのプーチン大統領は「ロスチャイルドに支配された」米ドルからのロシアの完全な独立を宣言した。このニュースに関する声明の中でプーチン氏は彼の国はついにロスチャイルド銀行カルテルと新世界秩序の陰謀による氷の支配から自由になったと述べた。



## ●日露関係に関するプーチンの弁

※安齋注:ウクライナ問題とは直接関係ないものの、興味深い情報なので載せました。

圧力をかけていたのだと思います。ロシアが北方領土を返還したくても、アメリカの DS(ディープ・ステート=闇の政府)がそれを許さない。DS は日本とロシアが敵対関係であることを望んでいる。ロシアがここまで歩みよったのに日本は「YES」と言えなかった。日本はアメリカから何としても離れないといけない。離れた上で、対等な国として付き合っていくべきだ。





●ロシア核兵器使用ならほぼ確実に「物理的に対応」=NATO高官(ロイター、2022年10月18日)

<https://jp.reuters.com/article/ukraine-crisis-nato-nuclear-idJPKBN2R720V?s=09>

【ブリュッセル 12日 ロイター】 - 北大西洋条約機構(NATO)高官は12日、ロシアが核兵器を使用すれば、ほぼ確実にウクライナの同盟国、およびNATO加盟国の「物理的な対応」が引き起こされるとの見方を示した。

NATOは12-13日に国防相理事会を開催。13日には核計画に関するグループの非公開会合も開かれる。

同高官は匿名を条件に、ロシアが核兵器を使用すれば「ほぼ確実に多くの同盟国のほか、潜在的にはNATO自体の物理的な対応が引き起こされる」とし、ロシアは「過去に例のない結果」に直面すると指摘。それでもロシアは、NATO加盟国などがウクライナに対する戦争に直接参戦するのを阻止するために、核の脅威を利用しているように見えると述べた。

米国のオースティン国防長官はこの日、NATO本部で記者団に対し、ロシアのプーチン大統領による核兵器使用の可能性を示唆する動きを米国は監視しているが、現時点ではいかなる兆候も見られていないと述べた。

NATOのストルテンベルグ事務総長は前日、NATOは来週に計画されている核抑止に関する軍事演習を実施すると発表。演習は以前から計画されていた通常のもので、中止すればロシアに「誤ったシグナル」を送ることになると述べた。



## ●イスラエル、空爆警報で協力申し出もウクライナはミサイルを要望(ロイター、2022年10月20日)

【エルサレム 19日 ロイター】 - イスラエルは19日、ウクライナに対し、民間人向けの空爆警報システムの開発支援を申し出た。ロシア軍がウクライナで自爆型ドローン(無人機)を使用したことを受け、これまで人道支援に限定するとしていた方針を軟化させた。

しかし、ウクライナ大使は警報システムではなくドローンを迎撃するシステムを要望。これに対しイスラエルのガantz国防相は、ウクライナへの武器供与は行わないことを確約していると述べた。

イスラエルは、主にイランなどからの攻撃を想定して迎撃ミサイルを配備しているほか、ミサイルが発射された場合にサイレンや携帯電話で市民に避難を呼びかけるレーダーネットワークを有する。

イスラエル国防省報道官は、同様の早期警戒技術がウクライナにも提供される可能性があるとした。

一方ガantz国防相はEUの外交官らに対し、「イスラエルは人道的支援と自衛装備の提供を通じてウクライナを支援する方針だ」とした。しかし、「さまざまな運用上の配慮から」兵器システムは提供しない方針だとした。

## ●ロシア軍に広範な圧力、「状況緊迫」=ウクライナ戦総司令官(ロイター、2022年10月20日) → 馬鹿に正直だね、この人！不気味ですね。

<https://jp.reuters.com/article/ukraine-crisis-surovikin-situation-idJPKBN2RD1VQ?s=09>

【ロンドン 18日 ロイター】 - ロシア軍によるウクライナでの軍事作戦を指揮するセルゲイ・スロビキン総司令官は18日、ロシア軍が広範な圧力下であり、困難な決断を迫られていると述べた。この日はまた、ロシアが任命した南部ヘルソン州の責任者が住民の一部避難を宣言した。

スロビキン氏は空軍・宇宙軍の総司令官で、ウクライナ軍事作戦総司令官に今月8日に任命されたばかり。ロシア国営テレビに対し「『特別軍事作戦』を巡る状況は緊迫している。敵は絶えずロシア軍に対する攻撃を試みている」とし、「これはクピャンスク、リマン、ミコライウ・クリヴィーリフ方面に関することだ」と述べた。

クピャンスクとリマンはウクライナ東部、ミコライウとクリヴィーリフの間の地域はウクライナ南部のヘルソン州の北部に当たる。

スロビキン総司令官は「ヘルソン市に関する今後の計画や行動は、軍事、戦術面での状況に依存する。

改めて述べるが、現在すでに極めて困難な状況にある」と表明。ウクライナ軍がドニプロ(ドニエプル)川の河口近くにあるヘルソン市に向けて進軍する可能性があることを認めた格好となった。

ロシア軍はヘルソン州で過去数週間に20~30キロメートル後退。スロビキン総司令官の発言が放映された直後、ロシアが任命したヘルソン州の責任者、ウラジーミル・サルド氏は、ドニプロ川の右岸にある4つの集落から住民を「組織的に」避難させると発表した。



## ●ロシアの穀物収穫量が過去最高に(Sputnik、2022年10月20日)

今年のロシア国内の穀物収穫量がこれまでに1億4750万トンに達し、過去最高記録を更新した。ロシア農業省がSNS上の公式ページで明らかにした。

「現在、1億4750万トンの穀物が収穫され、集積場にある。収穫は依然続いており、1億5000万トンに達すると推計される」

同省はこのように投稿している。これまでロシアの収穫量の最高記録は2017年の1億3500万トンだった。

一方、世界では食糧危機が深刻になっている。穀物が余っている国で融通しあうことができれば、この問題は解決されるはずで、ロシアも一貫して世界の食糧問題解決に貢献する意思を示している。だが、ロシア産の穀物輸出は円滑に進んでいないのが現状だ。ウクライナ情勢を背景とする西側諸国の対露制裁はこの問題を深刻化させている。

10月11日に米ワシントンで開かれたG20財相・農相会議でロシア代表のシリアノフ財相は「ロシアの港への入港禁止、ロシア金融機関のSWIFT排除、企業への制限などがロシア産食料や肥料の世界市場への輸出を妨げている。だから価格が不安定なのだ」と述べ、制裁に興じてロシア産食糧の世界市場への供給を阻害している西側諸国を批判していた。



## ●イランによるドローン供与の報道は圧力行使の口実＝露外務省(Sputnik、2022年10月20日)

西側の国々はイランがロシアにドローンを供与したと報じているものの、これはロシアとイランに圧力を行使する上で捏造された口実に他ならない。ドミトリー・ポリャンスキー国連次席大使が記者団の前に発言した。

ポリャンスキー次席大使は安全保障理事会で西側の国々より情報戦が再び展開されたと表明した。これは一石二鳥を目指す西側の作戦で、ロシアとイランに圧力を行使する上で捏造された口実に他ならないと次席大使は表明した。

次席大使によるとロシア軍がウクライナで運用するドローンは自国内で製造されたものだという。そのため、西側の主張は不当だとして反発した。

※安齋注:最近も、EU「が、国内攻撃用の無人航空機を搭載したロシアの兵器が、ウクライナのS-300防空システムを破壊した」とし、「敵位置の座標取得のためのドローンではなく、ミサイル防衛システムをかいくぐって地上60mを飛び、直接敵を攻撃する攻撃型ドローンがイランからロシアに提供された」と国連に提起している。一方、ロシア国営ロステクのチェメゾフ社長は、最新鋭防空・ミサイル防衛システムS-500「プロメテイ」の生産が始まったことを明らかにした。チェメゾフ氏は、今のところは「どんな金額だろうと」S-500を輸出しないと述べた。S-500はま

ず軍のために製造されているとして、軍に供給された後で、輸出について検討できると続けた。

S-500は次世代地对空ミサイルシステムで、弾道ミサイルや巡航ミサイルに加え、飛行機やヘリコプターなどの空中の標的も撃墜可能。S-500の射程距離は半径600キロ。軍に配備されている地对空ミサイルS-400や、米国の地对空誘導弾パトリオット(PAC3)の性能を大きく上回る。



### ●チェチエン戦闘員の戦果報告(2022年10月20日)

チェチエン首長カディオフは、特別軍事作戦のゾーンで戦っているチェチエンの戦闘員が、2014年以來ウクライナ軍から奪還できなかった農場を押収したと述べた。これは戦闘員らの本部会議で西アフマツ大隊イスマイル・アグエフの司令官によって発表された。



### ●フランス国民;お金も電気もない状態に置かれている(2022年10月20日)

鉄道員、教師、民間医療機関の下級職員、スーパーマーケット店員、トラック運転手などがストライキに参加している。左翼政治家のジャン＝リュック・メランションはすでに、民衆が蜂起して政権を失脚させた1968年5月の再来だと当局を脅している。

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1742.htm?s=09>





## ●ウクライナの政治家、キーウへの資金提供停止に関する米共和党の声明にショック(2022年10月20日)

ウクライナの政治家は、キーウへの資金提供停止の可能性に関する米国共和党の声明に反応した。最高議会の与党「国民のしもべ党」の党首であるデービッド・アラカミア氏によると、ウクライナの議員たちはそのような声明にショックを受けたとフィナンシャル・タイムズは報じている。

共和党は勝つのか、それがワシントンの政治をどのように変えるのか

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1743.htm>



## ●ウクライナ、米中間選挙に注目(2022年10月20日)

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1583055858770276357?t=wt-kySPYyAsdABBjTuohiQ&s=09>

ウクライナは、11月の米中間選挙の前に成功を収めようとケルソン奪取に躍起になっている。もし米共和党が勝利した場合、ウクライナへの支援が減る可能性がある。ハリコフ地方には宇による親露派への迫害の証拠が多数ある。ウクライナ当局はロシアの支援物資を受け取るだけで親ロシア派ト認定すると公言した



## ●欧州ガス調達の不都合な真実(2022年10月20日)

欧州は冬に備えて天然ガスの備蓄を満たそうとしているが各国政府は貯蔵天然ガスを殆ど管理していない。

国家戦略備蓄を通じ直接管理しているのは僅か 10%程度。90%はトレーダーと電力会社の手元にあり、寒波が来ると最高入札者にガスが供給される可能性がある。